

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

1996年(平成8年)11月15日 No. 1040

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 論客たちが語るエリツイン後のロシア..... | 1 |
| キーパーソン..... | 9 |
| ロシア地方選で現職知事2人が再選 | |
| ロシアで物議をかもし財界人の要職登用 | |
| 統計速報..... | 10 |
| データフラッシュ | |
| CIS諸国通貨の最新為替レート..... | 10 |
| 講演会のご案内 「トルクメニスタン経済の概況と近隣諸国との関係」..... | 10 |

論客たちが語るエリツイン後のロシア

はじめに 「エリツイン後」に向けて一気に流動化する様相をみせる現下のロシアにおいて、言うまでもなく最大の問題は、エリツインの後継者は誰か、その下でロシアがいかなる方向に進むかとういことであろう。先日、ロシア『独立新聞』の主催で、同国を代表する論客たちが一堂に会し、ポスト・エリツインのロシアについて忌憚のない意見を交わし合った(『独立新聞—シートリオ』、1996.10.17, No.7)。そこで本号では、この討論会における各論者の発言要旨を紹介する。なお、残念ながらこの討論は10月17日のレベジ安保会議書記の解任以前に行われたものだが、参加者たちはその後の事態の推移を十分に見越しており、分析の有効性は失われていない。

この討論会でも最大の対立点になっているのが、今日のロシアが必要としているのはカリスマ的で強力な指導者か、あるいは漸進的でコンセンサス重視の穏当な指導者かという問題である。前者の立場をとる論者がレベジに救世主としての役割を期待するのに対し、後者の立場に立つ人々はチェルノムイルジンを有力視している。おそらく、一般国民のレベルでも国論は二分されているとみられ、そのことはロシアが直面するジレンマの根深さを示している。

A. フョードロフ：左にウイングを広げるチェルノムイルジンに期待

まず指摘したいのは、これはエリートも庶民も理解しはじめていることだが、一人の人間だけ